

第1 吹田市肺がん検診及び結核検診実施状況

1 肺がん検診実施状況(R5年1月4日現在)

(1) 年次別肺がん検診受診者数及び受診率

<p>【受診率の算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算出対象は40～69歳。 対象者数 = 当該市町村に居住地を有する各がん検診の対象年齢の全住民 受診率 = (当該年度の受診者数 ÷ 対象者数) × 100 <p>【初回受診者について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度に吹田市肺がん検診の受診歴がある場合は「非初回」、受診歴がない場合は「初回」に分類される。
--

表1-1

令和元年度(2019年度)～令和4年度(2022年度)(4～9月)肺がん検診実績(40～69歳)

年度 区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4～9月)
対象者数	147,503	148,064	148,911	
受診者数	10,896	8,707	9,332	4,285
受診率	7.4%	5.9%	6.3%	
初回受診者数	3,830	3,122	3,560	1,349
初回の割合	35.2%	35.9%	38.1%	31.5%

参考：令和2年度受診率比較(40～69歳)

	全国 ¹⁾	大阪府 ²⁾	吹田市
受診率	5.5%	4.2%	5.9%

出典：1) 令和2年度地域保健・健康増進事業報告 2) 大阪府におけるがん検診令和2年度(2020年度)

表1-2

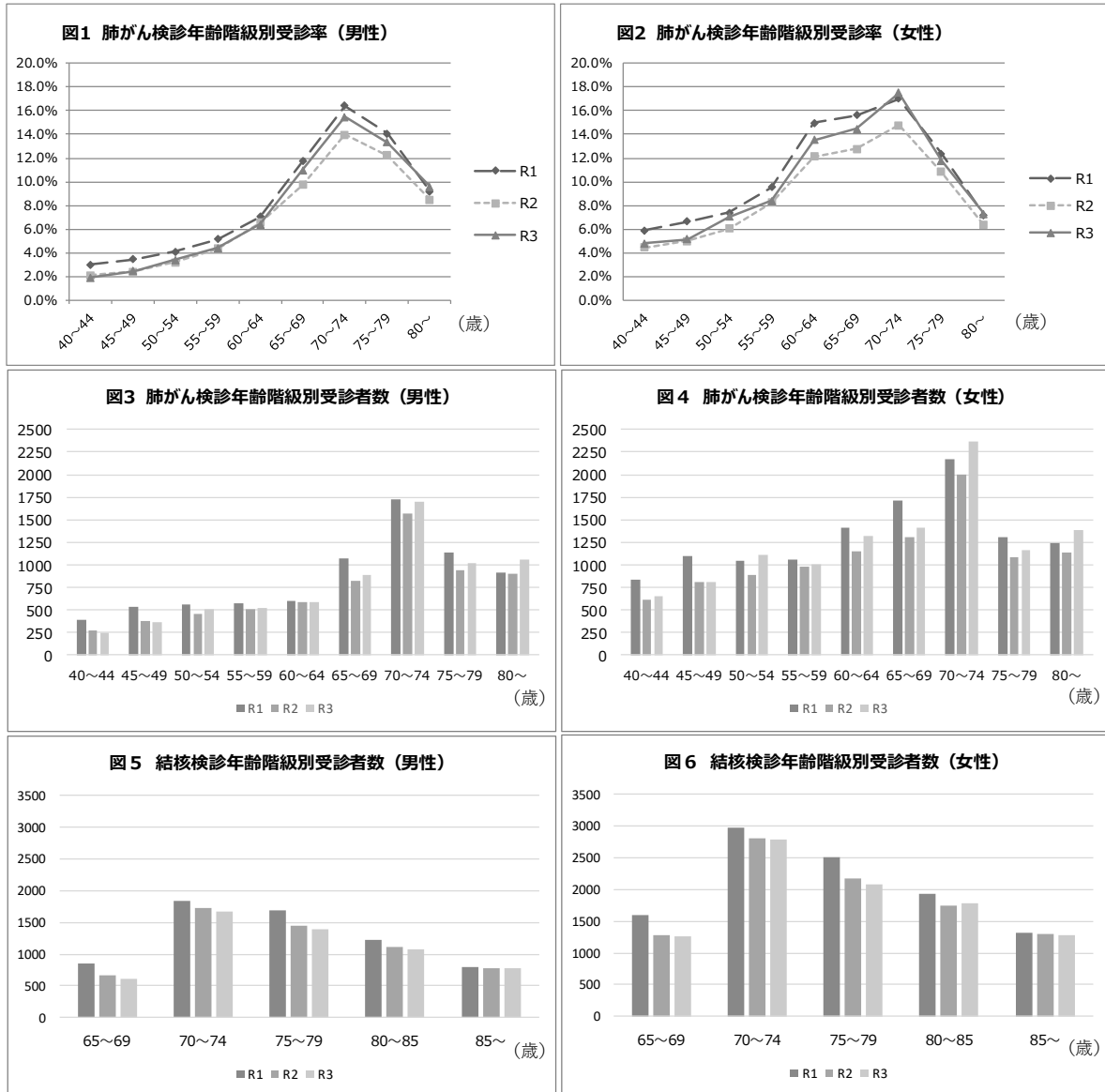
令和元年度(2019年度)～令和4年度(2022年度)(4～9月)肺がん検診実績
(40歳以上全年齢)

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度(4～9月)		
	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計
対象者数	217,055			219,257			220,984					
受診者数	17,686	1,706	19,392	15,338	1,051	16,389	17,217	913	18,130	8,424	343	8,767
受診率	8.1%	0.8%	8.9%	7.0%	0.5%	7.5%	7.8%	0.4%	8.2%			
初回受診者数	5,260	871	6,131	4,816	452	5,268	5,692	421	6,113	2,426	151	2,577
初回の割合	29.7%	51.1%	31.6%	31.4%	43.0%	32.1%	33.1%	46.1%	33.7%	28.8%	44.0%	29.4%

【結果】

- 令和3年度の40～69歳の受診率は個別検診・集団検診を合わせると6.3%であった。令和2年度と比較すると、0.4ポイント上昇している。(表1-1)
- 令和3年度の40歳以上の全年齢での受診率では、令和2年度より0.7ポイント上昇している。(表1-2)

(2) 令和元年度（2019年度）～令和3年度（2021年度）肺がん検診性別・年齢階級別受診者数・受診率及び結核検診性別・年齢階級別受診者数



【結果】

ア 肺がん検診について

- ・各年度の各年齢階級とも、受診率は男性より女性のほうが高くなっている。また、男女ともに70～74歳の受診率が最も高い。(図1、図2)
- ・年齢階級別受診者数では、男女ともに70～74歳が最も多くなっている。また、令和2年度と比べた令和3年度の受診者数は、全年齢を通して増加傾向にある。(図3、図4)

イ 結核検診について (図5、図6)

- ・受診者数は各年齢階級とも男性より女性が多く、男女とも70～74歳が最も多くなっている。
- ・受診者数はほとんどの年齢階級で、年々減少傾向にある。

(3) 年次別要精検者の状況について

【プロセス指標※の算出方法】

- ・要精検率 = 要精検者数/受診者数*100 ・精検受診率 = 精検受診者数/要精検者数*100
- ・早期がん割合 = 早期がん/がん発見数*100 ・がん発見率 = がん発見数/受診者数*100
- ・陽性反応適中度 = がん発見数/要精検者数*100

※プロセス指標とは…がん検診精度管理指標のひとつ。がん検診事業はだまかに受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価のプロセスに分かれているが、プロセス指標は各プロセスが適切に行われているかを評価するための指標。厚労省は平成 20 年度に各プロセス指標値の基準値（許容値・目標値）を決定し公表している。

＜喀痰検査について＞

国の指針による対象者(50 歳以上で、喫煙指数 (1 日の喫煙本数×喫煙年数) 600 以上の方)にて集計。

(参考) 喀痰細胞診の指導区分

- A : 判定不能
- B : 異常なし
- C : 6 か月以内の再検査
- D : 要精検 (悪性の可能性のある細胞を認めたため、精密検査が必要)
- E : ただちに要精検 (悪性の腫瘍細胞を認めたため、早急に精密検査が必要)

表 1-3 令和元年度～令和 4 年度 (4～9 月) 肺がん検診要精検者 (X 線判定 : E 喀痰判定 : D・E) 内訳 (40 歳以上)

	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度				
	X線E判定		喀痰D・E判定		X線E判定		喀痰D・E判定		X線E判定		喀痰D・E判定		X線E判定		喀痰D・E判定		
	個別	集団	喀痰	合計 (実数)	個別	集団	喀痰	合計 (実数)	個別	集団	喀痰	合計 (実数)	個別	集団	喀痰	合計 (実数)	
受診者数	17,686	1,706	1,128	19,392	15,338	1,051	924	16,389	17,217	913	935	18,130	8,424	343	470	8,767	
要精検者数	724	70	2	795	519	36	0	555	635	25	0	660	306	8	0	314	
要精検率	4.1%	4.1%	0.2%	4.1%	3.4%	3.4%	0.0%	3.4%	3.7%	2.7%	0.0%	3.6%	3.6%	2.3%	0.0%	3.6%	
精検受診者数	690	67	2	758	497	34	-	531	606	24	-	630	264	8	-	272	
精検受診率	95.3%	95.7%	100.0%	95.3%	95.8%	94.4%	-	95.7%	95.4%	96.0%	-	95.5%	86.3%	100.0%	-	86.6%	
精検結果内訳	異常なし	257	25	0	282	218	13	-	231	254	9	-	263	108	3	-	111
	がん	17	2	1	19	12	0	-	12	10	0	-	10	2	0	-	2
	がん疑い又は未確定	1	2	0	3	7	1	-	8	13	0	-	13	16	1	-	17
	GGO/GGN	7	0	0	7	1	0	-	1	9	0	-	9	4	1	-	5
	転移性肺腫瘍	1	0	0	1	1	0	-	1	2	0	-	2	1	0	-	1
	その他	407	38	1	446	258	20	-	278	318	15	-	333	133	3	-	136
	未受診/未把握	34	3	0	37	22	2	-	24	29	1	-	30	42	0	-	42
がん発見率	0.10%	0.12%	0.09%	0.10%	0.08%	0.00%	0.00%	0.07%	0.06%	0.00%	0.00%	0.06%	0.02%	0.00%	0.00%	0.02%	
陽性反応適中度	2.3%	2.9%	50.0%	2.4%	2.3%	0.0%	0.00%	2.2%	1.6%	0.0%	0.00%	1.5%	0.7%	0.0%	0.00%	0.6%	

【参考】プロセス指標比較(令和元年度) (40 歳以上)

	全国	大阪府
要精検率	2.12%	2.54%
精検受診率	83.4%	87.5%
がん発見率	0.06%	0.08%
陽性反応適中度	2.71%	3.25%

【結果】(表 1-3)

・令和元年～令和 3 年度では、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度は許容値を満たしている。

・要精検率については各年度とも許容値の 3% を上回っている。特に令和元年度が 4% を超える結果となっている。

参照 : 国立がん研究センター がん情報サービス 「がん登録・統計」 がん検診のプロセス指標

【参考】精度管理指標と許容値・目標

精検受診率	許容値	70%以上
	目標値	90%以上
要精検率	許容値	3.0%以下
がん発見率	許容値	0.03%以上
陽性反応適中度	許容値	1.3%以上

2 肺がん検診(個別検診)のX線判定状況(R5年1月4日現在)

＜X線判定について＞（吹田市の読影体制）

一次読影にて d・e 判定：要精検 b・c 判定は二次読影へ

二次読影にて b・c 判定：最終判定をb・c判定として一次医療機関に結果返却

二次読影にて d・e 判定は、読影委員会(三次読影)へ

※読影委員会では、市立吹田市民病院以外の肺がん検診受診者のうち、二次読影で d・e 判定のケースのみ読影。

（参考）X線判定の意味（最終判定は大文字で記載）

b：異常所見を認めない

c：異常所見を認めるが、精査を必要としない

d：異常所見を認めるが、肺がん以外の疾患が考えられる(肺がんは否定)

e：肺がんの疑い ※国の報告に従い、E判定を肺がん検診要精検とする

表 2-1

令和3年度肺がん個別検診読影内訳(人)
受診者数 17,217 人

〈一次読影〉		〈二次読影〉		※〈読影委員会〉		
b	13,810	b	12,582	B	87	16.5%
c	3,083	c	3,784	C	77	14.6%
d	49	d	7	D	3	0.6%
e	275	e	527	E	360	68.3%
		16,893		527		3.1%

表 2-2

令和4年度（4月～9月）肺がん個別検診
読影内訳(人) 受診者数 8,424 人

〈一次読影〉		〈二次読影〉		※〈読影委員会〉		
b	6,741	b	6,353	B	30	14.0%
c	1,508	c	1,681	C	28	13.0%
d	25	d	3	D	0	0.0%
e	150	e	212	E	157	73.0%
		8,249		215		2.6%

がん：0
照会中：5

《《令和3年度最終X線判定》》		
B	12,671	73.6%
C	3,860	22.4%
D	51	0.3%
E	635	3.7%

《《令和3年度読影委員会結果》》	
がん	6
うち0～I期がん	4
陽性反応的中度	1.7%
がん照会中	3

《《令和4年度（4～9月）最終X線判定》》		
B	6382	75.8%
C	1710	20.3%
D	26	0.3%
E	306	3.6%

【結果】

・令和3年度は受診者数 17,217 人のうち、一次読影で b・c 判定となった 16,893 人に対して二次読影を実施し、d・e 判定となった 527 人に対して三次読影を実施している。そのうち E 判定となったのは 360 人で、肺がんと診断されたのは 6 人だった。

3 肺がんであったケースの詳細 (R5年1月4日現在)

表 3-1 令和3年度 肺がん個別検診 肺がんであった者 (がん疑い、医療機関照会中を含む)
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

表 3-2 令和4年度 (4~9月) 肺がん個別検診 肺がんであった者 (がん疑い、医療機関照会中を含む)
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

【結果】

令和3年度の肺がん及び肺がん疑いと診断された24人のうち、肺がんの病期分類が確定している者は10人。男性が7人、女性が3人と男性が多い。年齢は、60~64歳が1人、65~69歳が2人、70~74歳が3人、75~79歳が2人、80歳~2人と、70~74歳が最多であった。また、喫煙者は8人であった。

10人のうち、70.0%の7人が0~I期で発見されている。そのうち初回1人、非初回6人であった。ステージII以上で発見されたがんは3人で、そのうち初回2人であり、非初回は1人であった。

なお、10人のうち、組織型は腺がん6人、扁平上皮がん3人、腺がんと扁平上皮がん1人であった。

令和4年度の肺がん及び肺がん疑いと診断された18人のうち肺がんの病期分類が確定している者は0人である。

4 プロセス指標について

(1) 一次医療機関ごとのプロセス指標(別紙2)

【結果】

全部で124医療機関実施しており、受診人数にもばらつきがあるため評価は容易ではないが、要精検率が許容値を達成している医療機関は44医療機関、精検受診率が許容値を達成している医療機関が87医療機関(うち、目標値を達成している医療機関は79医療機関)、がん発見率・陽性反応適中度が許容値を達成している医療機関は9医療機関であった。

(2) 二次読影医のプロセス指標(二次読影医別プロセス指標:別紙3)

表4 二次読影の判定状況(吹田市全体)

	二次読影数 (人) ※1	読影委員会対象者 (人) ※2	要精検者数 (人) ※3	要精検率	精検受診者数 (人)	精検受診率	がん発見数		がん発見率	陽性反応 適中度	
							0~I期がん (再掲)	0~I期がん 割合			
令和3年度	16,893	527	360	2.1%	337	93.6%	6	4	66.7%	0.04%	1.7%

*1: 一次読影にてb・cと判定した数 *2: 二次読影にてd・eと判定した数

*3: 最終読影にてEと判定した数

【結果】

要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度はいずれも許容値を満たしている。精検受診率については目標値も満たしている。

5 結核検診実施状況(R5年1月4日現在)

表5 令和元年度～令和4年度(4～9月) 結核検診実績

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4～9月)
対象者数		89,136	89,694	90,049	
受診者数		16,720	15,071	14,709	6,859
受診率		18.8%	16.8%	16.3%	
要 精 検 者 数	結核疑い	47	40	31	23
	肺腫瘍性病変	432	337	313	149
	合計	480	377	344	172
要精検者率		2.9%	2.5%	2.3%	2.5%
精検受診者数		423	328	308	132
精検受診率		88.1%	87.0%	89.5%	76.7%
精 検 結 果 内 訳	異常なし	159	105	114	37
	活動性結核	1	1	0	0
	がん	11	13	7	0
	転移性肺腫瘍	0	1	1	1
	がん疑い又は未確定	2	5	7	11
	その他	251	203	179	83
未受診/未把握		56	49	36	40
がん発見率		0.07%	0.09%	0.05%	0.00%
陽性反応適中度		2.29%	3.45%	2.03%	0.00%

- ・対象者数＝当該市町村に居住地を有する各がん検診の対象年齢の全住民
- ・受診率＝（当該年度の受診者数÷対象者数）×100

6 肺がんであったケースの詳細 (R5年1月4日現在)

表6-1 令和3年度 結核検診 肺がんであった者（がん疑い、医療機関照会中を含む）

個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

表6-2 令和4年度(4～9月) 結核検診 肺がんであった者（がん疑い、医療機関照会中を含む）

個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

【結果】

結核検診から結核は令和元年度に1人、令和2年度に1人発見され、令和3年度、令和4年9月受診者まで0人である。

令和3年度に肺がんと診断された8人のうち、病期が確定している者が7人で、性別は男性が3人、女性が4人、年齢は、65～69歳が1人、70～74歳が3人、75～79歳が1人、80歳以上が2人。肺がんの病期分類が確定している7人のうち、3人が0～I期で発見されている(初回1人、非初回2人)。ステージII以上で発見されたがんは4人(初回1人、非初回3人)。また、組織型は、腺がん5人、大細胞がん1人、小細胞がん1人であった。

令和4年度に肺がんと診断された又は肺がん疑いと診断された11人については、現在医療機関照会中である。